国立駅南口駅前広場基本設計

プロポーザル案

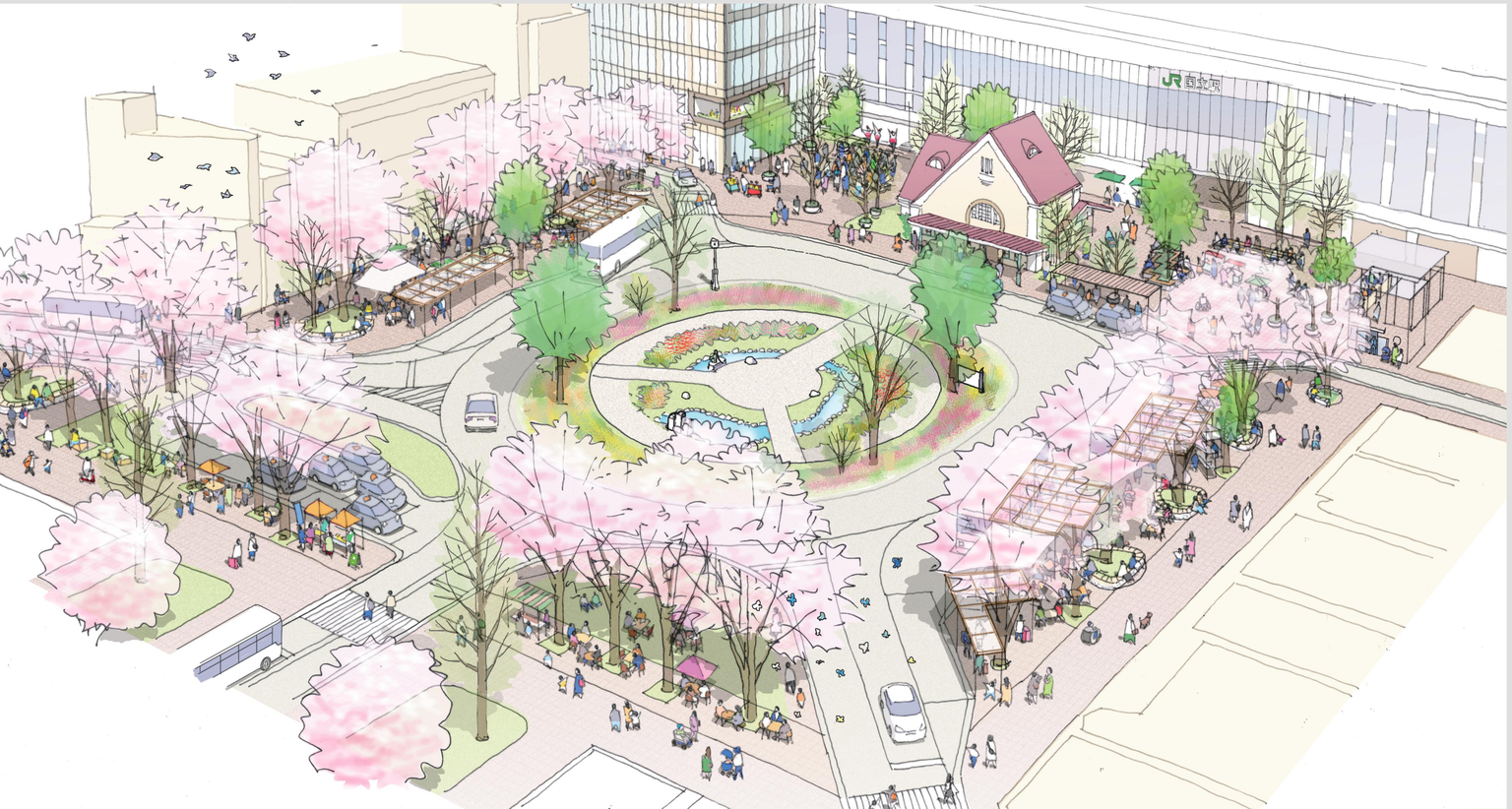
※ 本パースは事業者より示された「提案」であり、このとおり整備されるものではありません。
今後ワークショップなどを開催し、広く意見を募集していきます。

「みんなでつくる次の100年の広場」

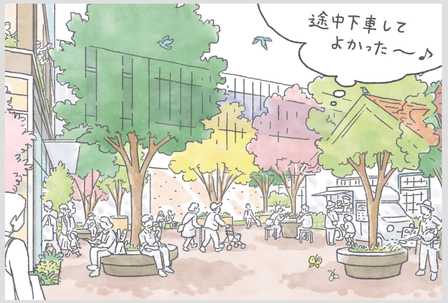
約 100 年前、国立駅と共に大学町が生まれました。三角屋根の駅舎、水禽舎のある円形公園が特徴的な駅前広場は人々が集まる場所でした。これらは時と共に車中心の空間に変わっていきました。現在、旧駅舎再築を機に、駅前を人中心の空間とする機運が高まっています。

そこで、駅前から大学通りに繋がる緑と人の空間をつくり、そこに集まる動植物も含め、それぞれが居心地よく過ごせる駅前広場をコンセプトとしました。そして、そこに人々が関わり、様々な活動を通して考え学ぶ場へと成長する国立駅南口駅前広場を目指します。

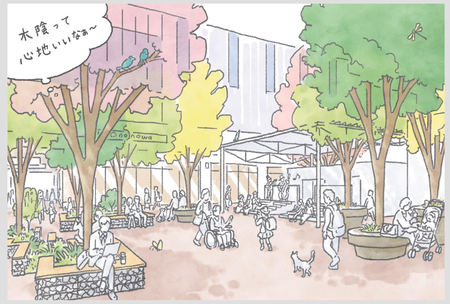
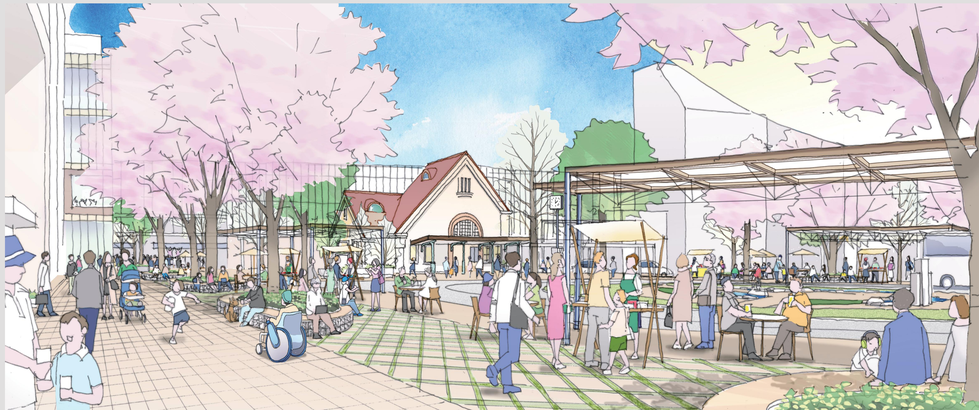
イメージ 将来の国立駅南口駅前



西側広場 イメージ



東側広場 イメージ



イメージ 広がる東西の歩道